

《第70回》平成三十一年一月の作品

へ一月十一日（金） 於 肥後細川庭園 松聲閣

洋室 A 「花菖蒲」 へ

手斧始杜を震はす木遣歌

（奉男）

数へ日と云ふといへども無為徒食

（清助）

一年の過ぐる早さや柚子の風呂

（平六）

昨年今年時と空気の入替り

（正雄）

破魔矢受け勇みごころで帰りけり

（前歩）

電飾の参道冬の善光寺

（隆治）

より小さく餅を切りたる齡かな

（芙沙）

冬滝にしがみつきたる一葉あり

（一江）

朝湯して無精髭そる二日かな

（孝昭）

初売りも三日になりし銀座かな

（貴美）

